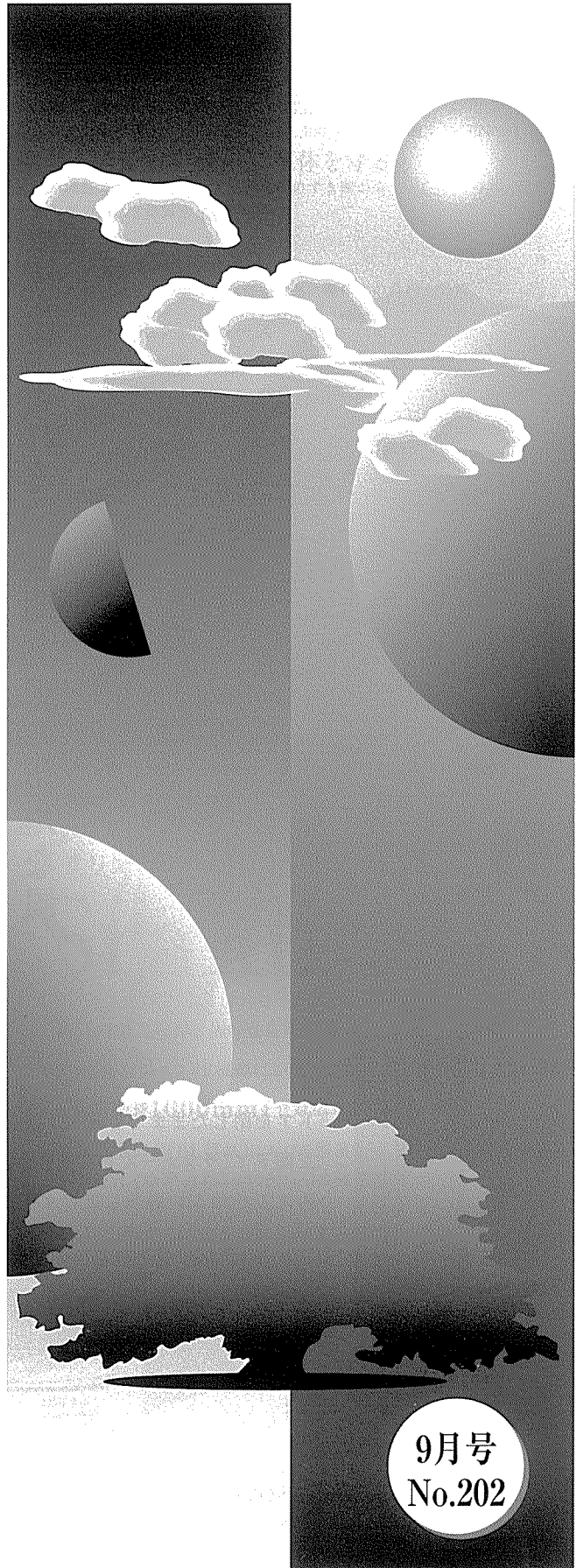


月刊

建材

ナビ



特集:民間マンションのA.L↓A.L改修に
シフト、住まいをグレードアップする
「窓改修事業」

特集:快適な室内空気環境を創造する健康的な
自然素材として定着した
「珪藻土配合塗り壁・天井材」

特集:ライフスタイルの変化にマッチした
新たなデザインスタイルを追求する
「内装建材市場」

9月号
No.202

ミルト出版会
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87
ト-1-407号
☎042-484-4507
FAX 042-484-4509
発行人 堤 祥行
年間購読料 30,000円 (送料・税込)

建材 navi 9月号-No.202 目次

- 特集** 民間マンションのAL→AL改修にシフト、住まいをグレードアップする「窓改修事業」 8
- 特集** 快適な室内空気環境を創造する健康的な自然素材として定着した「珪藻土配合塗り壁・天井材」 12
- 特集** ライフスタイルの変化にマッチした新たなデザインスタイルを追求する「内装建材市場」 14
- [環境・健康建材コーナー] 3
- [新製品・新技術情報／業界の動き] 18


© Miruto Shuppankai Ltd.2015 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX: 042-484-4509までお申し込みください
キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成27年(2015年) 号(月号)より1年間購読します。
(年間購読料/送料・税込30,000円)

貴社名	部署	ご芳名	印
送付先			
		FAX	

[環境・健康建材コーナー]

ビニフレーム工業

スリムなのに高強度・高性能・高意匠を実現したシングル配筋対応アルミ手すり「Forte (フォルテ)」BL認定品を含む充実したデザインバリエーション

ビニフレーム工業(石倉昭裕社長)は、「さらに薄く、もっと強く」を実現した、アルミ手すりの進化形「Forte (フォルテ)」シリーズの拡販を進めている。

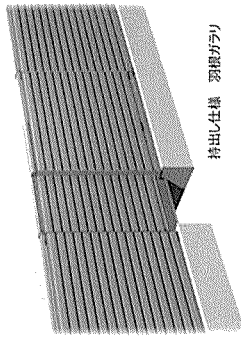
アルミ手すり「フォルテ」は、躯体幅の小さなシングル配筋にも対応した、パラホールシステム「DuoK」(ボルトアンカー後付工法)を採用したBL認定商品。高層マンション等の集合住宅用手すりに求められている、躯体への負担軽減と高強度・高性能、スリムでシャープな高い意匠性を実現する最先端のアルミ手すりとして新開発された。

特長は、①従来よりも薄くスリムな支柱サイズに関わらず、BL150型(水平荷重強度1450N/m)、BL300型(同2950N/m)に対応している。②アルミ製補強とステンレス製ボルトの組み合わせによる耐久性の高い構造。③支柱の埋め込みがないため、支柱下部のすき間から支柱内部の雨水と結露水が100%排出される。④アンカーボルト埋込用の穴径が小さくコンクリート用ドリルで穿孔作業ができ、躯体への負担も軽減できる簡易施工。一般的なBL認定の集合住宅用手すりを進化させた。

デザインバリエーション——
◇ウイング形状の笠木を採用した「Forte M2」(タテ格子、ガラス、パネル、ガラリ、トップレールの各タイプ)。◇カマボコ形状の笠木を採用したタイプ

3次元可動で最大可動量1000mm対応可能、手すりと同デザイン採用の手すり型エキスパンションジョイント「Sraid」の浸透強化

手すり型エキスパンションジョ



特出し仕様 羽根ガラリ

イント「Sraid(スライディ)」は、エキスパンションジョイントとアルミ手すりの両機能を統合し、同一の外観デザインを実現した耐震設計対応の高機能・高意匠な「手すり型エキスパンションジョイント」。最近の外観デザインを重視するマンションに最適な商品。

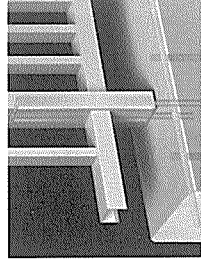
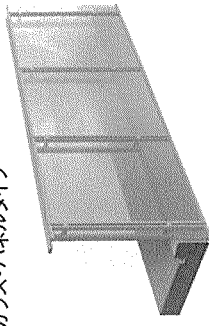
その特長は、アルミ型材のスライド機能によりXYZ方向の3次元に可動し、最大可動量1000mm対応を可能にした高機能構造。

同時に、強度面でもBL部品認定の墜落防止手すり強度基準300型(水平荷重2950N/m)の強度性能をクリアする高強度も特長のひとつ。BL部品性能試験方法に従った性能試験で、水平荷重2950N/m(300kgf/m)、鉛直荷重1600N/m(165kgf/m)のデータ。

デザインバリエーションは、タテ格子タイプ8デザイン、ルーバータイプ(特出し仕様・羽根ガラリ)4デザイン、パネルタイプにアルミバンチングパネル・アルミ板・アルミ樹脂複合パネル・ポリカーボネート板の4デザイン。

カラーは、ツヤ消しシルバー、ステンカラー、アーバングレーを標準色に、ツヤ消しブロンズ、ダークブロンズ、ツヤ消しブラック、ホワイトのスポット対応色を用意。

ガラス・パネルタイプ



「Forte MS」(タテ格子、ガラスのパネル、ガラリ、トップレールの各タイプ)。◇カマボコ形状笠木「Forte VT」(一段・二段手すりのタテ格子タイプとガラス、パネルタイプ。横格子とトップレールの各タイプ)。◇同じくスラブ隠しタイプの「Forte ML」(タテ格子、ガラス、パネル、ガラリの各タイプ)。

◇新たに楕円形状の笠木を採用した持ち出しタイプ「Forte M1」(タテ格子、ガラス、パネル、ガラリ、トップレールの各タイプ)が発売され、よりバリエーションが充実した。

この内、BL認定品は「M2」「VT」のタテ格子、ガラス、パネルタイプと、「MS」のタテ格子、パネルタイプ。



新たな提案商品として、公園遊具をモチーフにした室内に設置できる遊具シリーズ「アスレチックシリーズ」を新開発した。

「アスレチックシリーズ」は、事故防止の観点から公園遊具の撤去にとどまらず、子どもも体力や身を守る知恵の低下が叫ばれる現状を考慮し、親の目が届く室内でも子どもの体力づくり・身を守る知恵の獲得をサポートする新シリーズ。

その第1弾は、「うんてい」(W750×L2800mm)と、「のぼり棒」(H5200mmまで)。スチール製・本体カラー全4色(シグナルレッド、ターキッシュブルー、ゲルプグリーン、308エロー)とインテリア性に優れているほか、子どもだけではなく、大人の運動不足解消にも役立つことが特長。また「うんてい」は、上部を収納スペースなどマルチに利用でき、販売価格は、「うんてい」20万8000円、「のぼり棒」9万円。売上目標100セット/年。

セイキ販売

「セイキ・東京シヨールーム」開設、各種ネットなど主力商品を展示

セイキ販売(守谷将人社長)は7月10日、セイキ・東京シヨールームを同社東京支店(東京都練馬区豊玉南3-21-16)に併設しオープンした。

新シヨールームは、展示面積50㎡とコンパクトであるが、主力

商品のブラインド網戸、アコーディオン網戸、ロールアップ網戸、ハニカム・サーモスクリーン、内窓「窓窓」、目かくし、サンゴッド、合成木材、デッキなどの開口部商品、エクステリア商品を展示している。

これまでのセイキ工業(所沢市)併設されたシヨールームに比べて都心からのアクセスもよく、一般ユーザーもセイキグループの商品を実際に手に触れ見ることができるようになった。

TOTO・DAIKEN・YKK AP

「TDYリモデルスマイル作品コンテスト」作品募集、締切10月末

TOTO・DAIKEN・YKK AP 3社共同主催の「TDYリモデルスマイル作品コンテスト2015」の作品を募集中。応募締切10月30日(金)。

リモデル工事を提案した設計事務所や工務店を対象にしたコンテストで今年31回目。昨年は3000点を超える応募があった。

募集は、テーマ別部門3テーマ、部位別部門6テーマ、中古住宅を買ってリモデル部門、その他ブロック部門等。全応募作品の中から全国最優秀賞1作品をはじめ、部門別の最優秀賞・優秀賞・審査員奨励賞などを表彰する。応募方法・応募用資料などの詳細は、TOTOホームページ専門家向けサイト—http://www.com-st.comの「作品募集のご案内」に掲載。

大建工業

WPC床材「エクオスシリーズ」に肌触りのよい素材を活かした意匠の「エクオスピュアシルク」

大建工業(徳田正則社長)は、

傷がつきにくく、水濡れにもつよいWPC床材「エクオスシリーズ」に、肌触りのよい素材を活かした意匠の「エクオスピュアシルク」を新たにラインアップし、5月全国発売を開始した。

最近の耐久性に加えてデザインや色柄など意匠面・手触り感などのニーズに対応するもの。幅広いピースで高級感を演出する縦横溝仕様の2P、定番の幅の3Pに、手入れのしやすい溝なしの5Pの表面パターンを用意。表面材は銘木ハードメイプル、チェリー、ウォールナットの3種類。

フロア用基材「Eハードベース」の開発技術で木材加工技術賞受賞

大建工業のフロア用基材「Eハードベース」の開発技術(従業員5名)が、公益社団法人日本木材加工技術協会より「第60回木材加工技術賞」を受賞した。

受賞テーマは、複合フローリングへのサステイナブルな木質材料の利用拡大(Eハードベースの開発)。受賞理由は、木質フローリング基材の環境配慮型への変革及び普及価格帯での提供、凹みやキャスターキズへの強さなど性能アップ、フロア基材の国産材活用に貢献など、革新的な木材加工技術が評価された。

ケイミュー

「ネオロック・光セラ16セラトピア」/「エクセラージュ・光セラ15/親水セラPixcera」など人気商品のカラーバリエーションを充実

ケイミュー(野浦高義社長)は9月の新商品として、「ネオロック

光セラ16セラトピアシリーズ」の「グランガル」「カンピオ」と、「エクセラージュ・光セラ15/親水セラPixcera」の「グララート」「エストレモウッド」に新色を追加し、人気柄のコーディネートの幅を広げる。

重厚な天然石のような趣きを再現する濃色の新色を、「グランガル」に3色(全7色)、「カンピオ」に1色(全5色)追加する。販売地域全国:サイズ16×455×3030mm・税抜価格7900円/枚。

また「グララート」には、焼き物のナチュラな表情をモチーフにした新色2色(全7色)、「エストレモウッド」には、古木の味わいを残しつつコーディネートしやすいう新色2色(全5色)をそれぞれ追加した。販売地域一般地域:15×455×3030mm・税抜価格光セラ7500円/枚、親水セラ6900円/枚。

＊ ＊ ＊

「セラデール・親水パワーコート16グラシアシリーズ」の全国販売「メテオール」に、“より白い白”で清らかな気品と清涼感が漂うマックスホワイトを含む新色2色(全5色)を追加。サイズ16×455×3030mm・税抜価格5800円/枚。

一般地域向けの「エクセラージュ・親水14シリーズ」の「スマッシュライン」にマックスホワイト色(全8色)、「ラフレンガ」に新色3色(全5色)、「ニュータイル」に新色1色(全5色)をそれぞれ追加する。サイズ14×455×3030mm・税抜価格「スマッシュライン」4000円/枚、「ラフレンガ」「ニュータイル」税抜価格4800円/枚。

デザインシリーズ」を納入した。これにとどまらず、国内で初めてニチハから地方公共団体へ「CO²固定量証明書」を贈呈した。

「オフセットサイディングシリーズ」は、木材の高度利用を目的にした商品で、2013年1月から施主に環境貢献度を実感させることを狙いCO²固定量の数値化(見える化)の取り組みを開始していたもの。今回の外壁材と耐火野地板によるCO²固定量は12,772kg-CO²。

TOTO

洗面化粧台「オクターブ」に人気の木質系の扉5色を新たに追加



TOTO(喜多村円社長)は、洗面化粧台「オクターブ」に木質系の扉5色を新たに追加し発売を開始した。

新色扉カラーは、システムキッチン「クワッソ」と同色で、システムバスルーム「サザナ」の壁パネルカラーともコーディネートできることが特長。扉カラーは全11カラーに拡充された。

2009年に発売された「オクターブ」は、コーナークロケットの傾斜をつけてゴミを流れやすくした「すべり台ボウル」や、収納量を大幅にアップした独自のキャビネット「奥ひろ収納 奥ひろし」、お湯のムダ使いを防ぐ「エコシングルシヤワーボウル」などを標準装備している。

ROOGA 重ね葺き工法 [Re住(リジュエ工法)] 追加、費用負担を軽減

ケイミューは、ケイミュー屋根材「ROOGA」専用の新しいリフォーム工法「重ね葺き工法」(Re住(リジュエ工法))を追加した。既存のストレート屋根材の上からROOGAを重ね葺きしていく工法で、リフォーム時の費用負担を軽減し、スピーディーに施工がおこなえるほか、屋根デザインを一新できることが特長。

陶器瓦→ROOGA「鉄平」、セメント瓦→ROOGA「雅」、スレート→ROOGA「雅」などの葺き替えリフォームで、屋根の軽量化とデザイン性・耐候性の向上を同時に実現できる。

「コロナアルクアッド」 明るい新色2色を追加

ケイミューは、屋根材カラーベクト「コロナアルクアッド」に新色2色を追加し、6月発売を開始した。南欧外観やエレガント外観に合わせやすい明るい新色「メロウ・オレンジ」「ボルドー・レッド」の2色で、全10色とバリエーションが強化された。

ニチハ

三重県大台町に「CO²固定量証明書」を贈呈

ニチハ(山中龍夫社長)は、三重県大台町の公共建築物「介護老人保健施設みやがわ」(セシユリー耐火野地板)および「報徳診療所」(外壁材)に、国産木材チップを原料としたCO²固定機能を有する「オフセットサ

特集1: 民間マンションのAL→AL改修にシフト、住まいをグレードアップする「窓改修事業」

建築改修協会、2014年度末売上高893億5300万円・前年比7%減、窓57%／ドア19%／フロント15%

4-6月の新設住宅着工戸数は前年同期比7.6%増加し、ようやく下げ止まり回復の兆しを感じさせる。ビル建材分野は2020年東京オリンピック・パリンピックまでは底堅い需要がつづくとの見通しがされている。ただ、新規物件が首都圏に集中し、作業員不足による工事の遅れも懸念されている。こうした新規物件の動きは、ビル改修事業にも少なからず影響を及ぼすとみられるが、新規物件が不調な時はリニューアール物件の動きも鈍くなる傾向は変わらない。

サッシ・ドア・手すり・外装などのビル建材メーカーで構成する「建築改修協会」(永木公三会長)のまとめによると、2014年度末売上高は893億5300万円、前年比7%減少した。住居ビル7%減少、一般ビル17%減少に影響されたとの見方。

アイテム別には、窓511億7400万円(前年比11%減)、ドア169億6800万円(3%増)、外装21億3200万円(17%増)、手すり27億2100万円(7%減)、面格子2億3300万円(18%増)、フロント134億5700万円(3%減)、5億7100万円(17%増)補修20億9700万円(23%減)。売上高全体の内、窓約57%、ドア約19%、フロント約15%を占め、3アイテムあわせて90%を超える。

用途別には、学校(売上高全体の25.7%)が220億3800万円・横ばい、住居ビル(36.9%)が329億7400万円・7%減、一般ビル(24.3%)が217億3800万円・17%減、病院(6.6%)が58億6800万円・15%増、庁舎(6.5%)が58億3500万円・4%減で推移。

また、直契約比率は、窓12%、ドア9%(但し居住用の玄関ドア22%、扉本体12%)、外装5%(金属パネル10%)、手すり1%、面格子9%、フロント0%、内装18%、補修13%の割合。

ビル改修事業での直契約比率の拡大に重点をおく展開、民間マンションの管理組合への提案活動をつよめる

窓改修分野は、三協立山、不二サッシ、LIXIL、

YKKAPの4社が主導する。大手4社のビル改修事業への取り組みは、窓改修、玄関ドア、フロントを主力商品に展開する。ビル改修事業では、三協立山の「STER事業部」のように環境・改修事業に特化した提案から施工、アフター管理までトータルにサポートする体制を構築することが必要とされる。

建築改修協会の窓売上高をみると、ST→AL5億0900万円(15%減)、AL→AL502億9500万円(11%減)、浴室3億7000万円(37%増)と、AL→AL改修にほぼ移行している。ただ、各社が重視する直契約比率はAL→AL12%、ST→AL5%と大きな変化は見られない。

この直契約比率を高めると、改修事業に特化した体制は欠かさない。とくに、AL→AL窓改修は、民間マンションを対象にしており、大手デベロッパーの改修物件だけでなく、管理組合への直接的な働きかけ、提案活動が、大型物件受注につながるケースが増えている。

大手4社のビル改修事業は、取扱商品の幅によって左右されるから、開口部、外装、エクステリア、内装などトータルに提案する商品構成力も問われる。その意味では、グループ全体であらゆるニーズに応えられる改修商品をかかえるLIXILは、ビル改修事業のリーディング企業として市場を牽引している。

2014年度4社ビル窓改修販売高約613億円、住居ビル向け40%、学校30%を軸に一般ビルに浸透

窓改修工法では、三協立山「HOOK SLIM」、不二サッシ「FNS-RE II」、LIXIL「ビルサッシサーモス-SRF/HRF」「PROSE-F」、YKKAP「GRAF工法」を主力商品として展開する。

これらの工法の特長は、既設窓の開口を極力狭めることなく、住まいながらスピード施工できること。窓改修により断熱性・防露性を高め、意匠性、遮音性、耐震性、防犯性を向上させること。とくに、断熱改修工事がおおく、マンション窓改修工事のおおくが、空気層12mm複層ガラス仕様を採用している。新たな商品では、LIXILが昨年アルミ樹脂複合窓「サーモス」を低層マンション専用に発売して

いる。また、YKKAPがビル用エコ内窓「ビュー」を投入した。不二サッシは地震対策商品として「免震式サッシ」を発売する。

4社のビル窓改修販売高は約613億円と推定される。LIXILが約230億円・シェア37.5%と推定される。用途別には、住居ビル37%、一般ビル30%、学校23%、病院4%、官公庁6%の比率。アルミ樹脂複合タイプを投入し、低層集合住宅の窓改修にも力を注いでいる。

YKKAPは約194億円・シェア31.6%と推定される。用途別には、住居ビル41%、一般ビル20%、学校30%、病院3%、官公庁6%の比率。民間マンションを対象に、省エネ化、喚起、操作性など入居者のニーズに合わせた提案を強化している。

三協立山は約136億円・シェア22.2%と推定される。用途別には、住居ビル40%、一般ビル14%、学校32%、病院5%、官公庁9%の比率。断熱性はもとより意匠性、眺望性、操作性、遮音性、安全性、防犯性など住まいのグレードアップを目的にした短工期・ローコスト改修を提案する。

不二サッシは約53億円・シェア8.7%と推定される。用途別には、住居ビル35%、学校25%、一般ビル20%、病院15%、官公庁5%の比率。民間マンションを中心に直契約比率の拡大に重点を置いている。「免震式サッシ」は、災害時にも事業を継続する必要がある病院などに採用されている。

三協立山

**スリムな意匠と広い眺望を実現する
改修用サッシ「HOOK SLIM」を軸に
展開、複層ガラス採用率50～60%**

【重点商品】□マンション向け「窓改修」——◆「HOOK SLIM」:ノンシール工法改修用サッシ。住まいのグレードアップを目的にした商品で、枠まわりをスリムな見付にした高い意匠性と広い眺望性が特長。同時に、部材・部品点数の削減や乾式ガasketを採用したノンシールで工期を短縮し、ローコストを実現した。引違い窓2枚建・袖FIX付引違い窓2枚建の単板・複層ガラス仕様。◆「ブラマイクE II」:樹脂製内窓。1時間のスピーディ施工、防音性の向上、冷暖房費を約20%節約するエコ内

窓。

□マンション向け「ドア」——◆改修用玄関ドア「ラポート」:マンションをワンランクアップさせる提案商品。デザイン8種類・カラー8種類。プッシュプルハンドル錠2色。オプションに換気装置を用意。□マンション向け「手すり」——◆「サイドマスター」:BL認定改修用墜落防止手すり。手すり全体を外部に持ち出す構造で、バルコニースペースが広くなりゆとりが生まれることが特長。

□一般ビル向け「外装」——◆「ロフスパネル」:メタリックな質感とシャープな印象の近代建築を演出するアルミ樹脂複合パネル。フッ素樹脂焼付塗装のスーパーメタリックシルバーとシャンペンシルバーの2色(特注色にも対応)。軽量で作業効率がよく、躯体への負担を軽減。タイト材方式(ドラライシーリング工法)で工期短縮。メンテナンステ時に部分補修が可能で廃材の少ない環境にやさしい工法。

【現況】三協立山は、2009年ビル建材本部内に「STER事業部」を設立して以来、ビルの環境・改修事業の提案から施工・アフターメンテナンスマでトータルな提案・サポート体制の構築を進めている。STER(スター)は、Sankyo Tateyama Eco & Remodelingの頭文字をとったもので、「エコ・環境・省エネ」&「リモデリング・改修・改修」を表わすもので、主にビル用改修アルミ建材需要の増加に対応する。

主な取扱商品は、「サッシ・窓改修」「外装改修」「玄関ドア改修」「手すり改修」「ビルメンテナンシステム」、さらに「環境商品」の自然換気システム「NAV-Window21」、断熱サッシ「エルミン窓」、太陽光発電など多岐にわたる。例えば、サッシ・窓改修では、複層ガラスへの交換、二重サッシ化、断熱サッシへの交換、防犯性の向上、ユニバーサルデザインへの配慮など、居住性を高める開口部改修提案を行なっている。さらに、サッシ・窓改修や玄関ドア改修以外の「手すり改修」「環境商品」などは、同社の強みであり、STER事業の拡大を支えている。

窓改修事業の用途別販売割合は、マンションら居住ビル40%、学校30%強、一般ビル10%強、官公庁10%弱、病院5%の比率。すでにAL→AL改修が100%を占める。改修は、断熱性・意匠性・操作性・遮音性・安全性・防犯性など、住まいの

グレードアップを目的にしている。マンションの窓改修工事における複層ガラス採用率は50～60%と拡大傾向にある。

改修用玄関ドアは、公共住宅改修の需要が停滞するなかで、耐震改修などの授与が高まりつつある民間住宅改修の増加に期待する。商品的には、時代のニーズにあったデザイン・カラーの品揃え、耐震性・防犯性・断熱性・操作性へのニーズが高いとの見方。

一方、外装改修は年10%程度の伸びがみられ、市場は活性化している。東京オリンピックを控え、意匠性向上・耐震改修など更なる増加を見込む。手すり改修も、スチール製からアルミ製の潜在的な改修需要が継続し、増加が見込まれている。

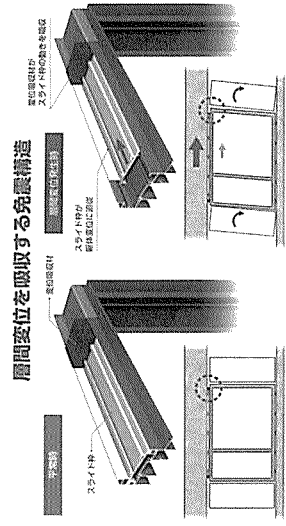
不二サッシ

FNS-70 シリーズ・地震対策商品「免震式サッシ」で企業の事業継続計画(BCP)に貢献、直需契約の拡大を進める

【重点商品】□マンション向け「窓改修」——◆リフォームサッシ「FNS-REII」：取付工法の進化により、窓の機能・性能・意匠性をグレードアップする新たな窓改修提案。特長は、①ノンシーリング工法で施工時間を大幅に短縮、居住者の負担を軽減した、②広い有効開口と眺望、最高面積を確保したスリムでシンプルなデザイン、③空気層12mmの複層ガラス使用で断熱性能をグレードアップ等。性能仕様：ガラス溝幅14mm 単板ガラスの「FNS-REII」と「FNS-REII-EAT」/同36mm複層ガラス「Super REII-P」(耐風圧制S-6、気密性A-4、水密性W-5、遮音性T-1T-2、断熱性H-2)。

◆FNS-70 シリーズ・地震対策商品「免震式サッシ」：サッシ上枠に設けたスライド枠と変位吸収材で攻勢する新面震構造で、層間変位角1/100(ラジアン)の条件でも破損しない。企業の事業継続計画(BCP)に貢献。◆FNS-70/FNS-70EAT「内は引型引違い窓」：バルコニーのない高所窓や面格子付間に最適な改修窓。◆「リサッシ工法」：障子だけを取り替える工法。

【現況】ビル改修事業は、窓改修、居住用玄関ドア・ビル用スチールドア、フロント、外装パネル、手すりなどを幅広く展開する。南関東エリアでは、



内装時リフォーム事業も手がけている。営業的には、民間マンションなどを対象にした直需契約率の拡大に力を注いでいる。窓改修の用途別は、居住用35%、学校25%、オフィス20%、病院15%、その他庁舎5%の比率。

窓改修は、AL→AL改修97～98%。改修目的は結露対策、断熱性能の向上がおおく、断熱改修工事は全体の7割を占める。居住者の負担を軽減する「FNS-REII」シリーズを主体に展開している。最近、災害時における企業の事業継続計画(BCP)に貢献する「免震式サッシ」の拡大に取り組んでいる。

改修用ドアでは、文化シヤッターの回収商品を使用した、玄関用ドアをはじめビル用重量ドア・軽量ドアに対応する。ビル改修事業全体では、窓改修につぎフロントの売上高がおおいことが特長のひとつ。エリア的には、東京、大阪を中心に名古屋、九州への拡大を図っている。

LIXIL

低層マンション向けリフォーム専用カバースッシ「ビルサッシサームス-HRF」(アルミ樹脂複合障子) 拡販

【重点商品】□マンション・ビル向け改修用窓——◆低層マンション向けリフォーム専用カバースッシ「ビルサッシサームス-SRRF/HRF」：住宅用窓の主力商品である「サームス」の断熱性、眺望性、意匠性のよさを活かした低層マンション向けリフォーム商品。カバースッシでは業界初のアルミ樹脂複合障子「Hタイプ」とアルミ障子「Sタイプ」で構成。特長は、サッシ周辺のハツリ工事や内装工事が不要で、住まいながら1窓あたり1時間程度の施工時間で済むこと。Hタイプは、引違い窓とFIX窓に外観3色・内観3色を用意。最高断熱性能

は、遮熱高断熱複層ガラス・高断熱複層ガラス仕様でH-4等級。

◆ビル・集合住宅用改修サッシ「PRO-SE-RF」(ドライブシール仕様、集合住宅向け) / 「PRO-SE-RFS」(ウェットシール仕様、一般ビル・店舗・学校・集合住宅向け)：特徴は、床との段差が3mmの下枠納まり、カバースッシ専用枠の採用、1窓あたり最短30分の施工時間、はめ込み式内枠縁、細見付のすっきりとした引違い窓の採用等。引違い窓のガラス溝幅は17・22・30・36mmの4種類。断熱性能は、70見込・ガラス溝幅36mm・空気層12mm複層ガラス仕様でH-2等級。樹脂製縁縁結露防止構造を採用。

◆関連商品——◆防音・断熱内窓「インプラス」(樹脂製)。◆縦型換気ユニット「シーガルウインドウ」(開口部寸法110mmの自然換気窓。学校施設優良部品認定、キッズデザイン賞受賞)。◆換気口用消音ボックス「クレール」等。

□改修玄関ドア——◆マンションリフォーム用玄関ドア「Reshine(リシャイン)」：カバースッシによる半日から1日で工事を完了する「1dayリフォーム」商品。5デザイン×6カラー。◆「RS」シリーズ：◆かぶせ工法——新工法の「シンプルカバースッシ」(既存枠加工あり。既存枠にカバースッシを直接取付、調整・固定、戸先カバースッシを取り、新しい扉を吊りこみ、建付け調整する工法で従来よりも施工時間を30%短縮。既存枠からの出寸法15mm) / 「持ち出し工法」(狭まりを少なくした工法) / 「カバースッシ工法」(もともと一般的な工法) / 「幅狭まりゼロ工法」(既存枠加工あり。W方向の有効開口が既存枠と変わらない)。◆扉交換工法(既存枠をそのまま活かした工法)等。扉10デザイン・15色、錠前4種など豊富なバリエーションを用意。

【現況】総合住生活企業・LIXILのリフォーム事業は、戸建住宅をはじめ、集合住宅、一般ビルなどあらゆる建物をターゲットに展開する。その商品構成力は業界随一であり、開口部商品や室内建具、設備機器のトータルな提案力が大きな強みといえる。

マンション・ビル向け改修商品は、窓、ドア、外装、手すり、面格子、内装などのビル建材をトータル展開する。その中でも、主力商品は窓改修商品と改修玄関ドアの開口部商品。窓改修商品の「ビルサッシ

シサームス-SRRF/HRF」は、住宅用サッシ「サームス」を低層マンション向けリフォーム専用商品として発売したもの。リフォーム理由の上位にくる断熱性、結露対策、意匠性の向上に対応する商品として浸透を強めている。

窓改修は、AL→AL改修がほぼ100%を占めている。また用途別には、居住用40%弱、一般ビル30%、学校20%強、病院・官公庁10%の比率。

窓改修目的のほとんどが断熱改修工事で、空気層12mm複層ガラス仕様が一般化している。断熱工事には、アルミPGタイプ、アルミ樹脂複合タイプ、樹脂内窓などユーザーのニーズに応じて対応できるが、最近では民間マンションの管理組合を主な対象にした受注に重点を置いている。

YKK AP

ビル用エコ内窓「Biew(ビュー)」, 意匠性・眺望に優れ、省エネ・節電・遮音効果の高いオフィス環境を実現

【重点商品】□ビル向け改修商品——◆ビル用エコ内窓「Biew(ビュー)」：すっきりとした意匠で眺望を確保する簡単な工事で、省エネ・節電・遮音効果を高めた快適なオフィス環境を実現する。断熱性能：引違い窓(外窓FL5mm+サッシ間空気層120mm+Low-E5mm)で断熱性H-4等級。遮音性能T-3等級。窓種：引違い窓2枚建・3枚建・4枚建、FIX窓、連窓方立。

□マンション向け改修商品——◆「EXIMA31[GRAF工法]」：マンションの省エネ化、快適性を向上させることができる、既設窓の下枠レールをカットし新たな窓をかぶせる工法。特長は、①既設窓の開口を極力狭めることなく窓改修を行なえること。②騒音・粉塵を抑制し、スピード施工が可能。③住人が居ながらに改修できるから負担が少ない。④換気や通風が用いに行なえる換気小窓「内倒し型窓」や、開閉操作サポート部品の設定等。

□マンション向け玄関ドア改修商品——◆「R'sSDX」(System1,2,3,4) / 「EXIMA80St」(TypeD,R,M,F)の2シリーズ：特長は、豊富なデザインバリエーション、既存の枠を取り外さず1戸あたり約100分のスピード施工。汎用性の高い「カバースッシ」, 既存の通行幅を確保できる「持ち出し工法」, 扉のみを一新する「扉交換工法」を用意。

【現況】窓改修事は集合住宅と一般ビルに展開する。集合住宅では、UR、公団から民間分譲マンションでの窓改修への取り組みが活発化しており、省エネ化、換気、操作性など入居者ニーズにこたえた提案活動を管理組合中心に展開している。また、ビル物件では、省エネ化の関心が高いことから断熱化だけではなく、建物全体での効率的な自然換気提案なども強化している。

窓改装の用途別割合は、居住用40%強、学校30%、一般ビル20%、病院・官公庁10%弱の比率。この内、AL→AL改修が98%とほぼ100%。断熱窓改修事は、GRAF工法でおよそ80%占める。ビル用エコ内窓「ビュー」は、既設のビル外観

にマッチするアルミのエコ内窓として注目のアイテム。

一方、改修用スチールドアは、玄関ドアを中心に重量ドア、軽量ドアにも対応している。今後とも改修用玄関ドアの需要が伸張すると予想。防犯性はもちろん、住まいの快適性を向上させる、断熱性、遮音性、さらには換気機能などのニーズが高まっている。

また、マンション居住者の高齢化が進む中で、開閉しやすいプッシュアップリップ錠など操作性に配慮した部品が好評。さらに耐震性の要望に応じて耐震防犯仕様などの拡大を図っている。

特集2：快適な室内空気環境を創造する健康的な自然素材として定着した「珪藻土配合塗り壁・天井材」

2003年の改正建築基準法において、健康被害を引き起こす有害化学物質のホルムアルデヒド発散建材の使用が規制されて以来、内装材や家具、インテリア、壁紙などが、いわゆるF☆☆☆☆商品への切り替えが進められた。

その切り替えを通じて、「珪藻土」「ゼオライト」「備長炭」「しゅくしい」「シラス」「セラミック」などの多孔質自然素材が注目を浴び、安心・安全な健康建材の代表として市場に定着している。

その中でも、「珪藻土配合塗り壁」は健康建材ブームを巻き起こした。自然素材は有害物質を含まない多孔質な素材のゆえに、室内の湿度を一定にたもつ吸放湿機能、有害物質の吸着機能、生活臭・ペット臭などの悪臭吸着機能などで室内の空気環境を快適な状態にコントロールしておくことができる。そのほかにも、吸音、遠赤外線効果、電磁シールド効果、CO²吸着効果、さらには断熱性や防火性といった特性も認められている。

健康建材ブームに乗って一時期20社を超える「珪藻土配合塗り壁」が市場に登場した。その際に問題とされたのは、その性能が検証されないまま

の上からでも施工できる「けいそそうりフォーム」「けいそモダンコート直塗り」などの簡単リフォーム商品、また塗り壁の風合いをそのままに表面を好みのカラーでコーティングできる「エコ美ウォール」などの低コスト商品も投入して、リフォーム需要の獲得を進めている。すでにリフォーム向けは、塗りの40%まで高まってきている。

さらに四国化成工業は、塗り壁＝高コストという誤解の解消に取り組んでいる。「エコ美ウォール」は、ビニルクロス壁に比べて短工期で済み、廃材ゼロで、塗り壁の上からローラーで塗るだけの一般ユーザーにもできる「らくらくリフォーム」。長期的にはコストパフォーマンスで珪藻土クロスを上まわるとのデータを明らかにしている。

「珪藻土配合塗り壁」は、ホルムアルデヒド吸着効果だけでなく、それを分解・無害化する機能も付加できる。それらの効果は実際の施工現場で実体験できることを考えると、高コストイメージを払拭した一般ユーザーへの浸透がポイントになりそうだ。

四国化成工業

子どもに安心・安全な健康壁「けいそそうシリーズ」拡販、ビニルクロスの上からのリフォームへの対応強化

【現代塗り壁 JULUX】■「けいそそう壁」：主成分である「けいそう土」のもつ調湿性、断熱効果、吸音性・遮音性、耐火性等の特長をそのまま活かした、日本の気候風土にもっとも適した塗り仕上げ材のトップブランド。

6畳部屋と同等サイズの実験室での測定では、シックハウスの原因となるホルムアルデヒドを約90%除去することを実証した。ビニルクロスを剥がさず上から塗布仕上げした塗り壁リフォームの場合にも同じ効果が確かめられた。

同時に、「塗り壁」+「エコ美ウォール」の壁リフォームは、長期的には珪藻土によるリフォームよりもコストパフォーマンスに優れ、塗り壁の美しさと機能を損なわず、わずか1日の短工期で完了することも明らかにされている。◆調湿、ホルムアルデヒド吸着・分解機能を有する商品群：「けいそモダンコート内装」「けいそモダンコートフラット」「けいそモダンコート直塗り」「けいそフアームコート内装」



四国化成：「エコ美ウォール」透過タイプで塗り壁の調湿機能を損なわず簡単リフォーム

いそうりフォーム」「テンダートップけいそ」「けいそうジュラックス土壁」等。

■「備長炭壁」：備長炭にけいそ土を配合した高機能塗り壁——◆調湿、悪臭吸着・分解、ホルムアルデヒド吸着・分解、遠赤外線効果を有する商品群：「さやかシルキー」「さやか」「さやか備長炭100」等。

■「天井材」：けいそ土のもつ機能を効率よく発揮する天井向け商品——◆調湿、悪臭吸着・分解、ホルムアルデヒド吸着・分解、遠赤外線効果を有する商品——「けいそモダンコート天井」「けいそりフォーム天井」「さやか天井」等。

■「しゅくしい壁」：消石灰を主材とする土壁より緻密で硬く、耐水性にすぐれた高級仕上げ材——◆調湿、ホルムアルデヒド吸着、CO²吸着、抗菌効果を有する商品：「ネオしゅくしい」「ネオしゅくしいクリーム」等。

■その他内装材——「メタリック壁」、「速乾性厚塗り壁」、「聚楽壁」、「ガラスビーズ壁」、「砂壁」、「耐水壁」、「リフォーム塗材・エコ美ウォール（透過タイプ）」など、豊富な商品バリエーションを展開する。

【最近の動き】日本建築の伝統を受け継ぐ塗り壁に、高度な技術を融合させた「現代塗り壁 JULUX」は、健康的で快適な室内環境の創出を実現する呼吸する壁「健康壁」のトップブランドとして塗り壁市場を牽引している。その代表的なシリーズとして、「けいそ壁」や「備長炭壁」、「しゅくしい壁」、「天井材」を展開する。

健康壁ブームにのって調湿機能やホルムアルデヒド吸着・分解効果をセールスポイントにする自然素材を用いた塗り壁商品が登場しているが、四国化成は生活空間と同等の実物大実験室において、健

康壁「けいそうシリーズ」の検証、その効果を実証することで高い信頼性を獲得している。米国グリーンビルディング評議会の制定するLEED認証ポイントに加盟されるVOC規制認証のGOLD取得など、国際的にも環境に負荷を与えない建材として認知されている。

商品的には、けいそう土、聚楽土、川砂、備長炭などの自然素材をベースに、匠の技「模様付け」で「一点もの」の柄を実現する。カラーでは、基本色60色・電灯和風色16色の標準色76色に加えて、CCM(コンピューター・カラー・マッチングシステム)によるSKセレクトカラー、さらに、クイックウォール

エコウォール専用メタリック色のパール基本60色・パール伝統和風色16色・ゴールド色12色の計88色の豊富なカラーバリエーションを用意する。

販売傾向をみると、住居向け90%、非住居10%と戸建住宅を主力にした展開。新築向けは60%、リフォーム向けが40%の比率。ビニルクロスの上からでも施工できる「けいそうリフォーム」や「けいそうモダンコート直塗り」による簡単リフォーム、さらに、模様替えの際に塗壁の風合いをのこしたまま表面を好みのカラーでコーティングできる「エコ美ウォール」による低コストリフォームの拡大に取り組んでいる。

特集3: ライフスタイルの変化にマッチした新たなデザインスタイルを追求する「内装建材市場」

リフォーム時期を迎えているアクティブシニア層を対象にした新商品提案でリフォーム需要を顕在化させる

昨年度は新設住宅着工戸数の減少で、ほとんどの住宅建材分野が縮小した。新設住宅着工戸数は近い将来激減するとの予想もあり、リフォーム需要の確保は共通のテーマとなっている。

そうした中で、インテリア建材分野は若い世代の住宅一次取得層と、リフォーム時期を迎えているアクティブシニア層を対象にした商品提案が求められている。それぞれのライフスタイルを見極めた世代に合わせた暮らし方の提案をベースに、デザイン、機能、品質をグレードアップした新商品開発とバリエーション強化が進められている。

ここ数年、各社のモデルチェンジが進められている。LIXILは、中高級品の「グランドラインラフイス」を新発売した。部屋と部屋を仕切る建具の枠を見直し、扉が壁・天井と同一面に納まり一体化したシンブルで無駄のないインテリア空間を実現している。ドア・引戸の開口部商品に精通した高い技術力に裏付けられた新発想のリビング建材シリーズ

として注目される。

また、業界最大手の大建工業は10月21日から創立70周年記念新製品の発売を予定している。全カタログ製品の8割以上を一気に刷新し、新たな価値提案を行なうというもの。そのポイントとして、主力商品「hapia(ハピア)シリーズ」の強化、将来を考えた住まいづくり「備える思想」の提案、「かんたんモデル」シリーズの発売、デザイン・品質・技術の3つの要素を高いレベルで兼ね備えた業界初の特殊加工シート床材「Trinity(トリニティ)」の発売が予定されている。

こうしたデザイン・色柄・品質の新たな提案とともに機能面を重視したインテリア商品も注目される。そのひとつに、エネルギー消費を抑え、快適に過ごせる暮らしを提案する、YKKAPの「小エネ(ローエネ)で暮らそう」がある。光や風を奥まで通した開放的な空間づくりを実現する商品群の提案である。アルミインテリア建材は、窓や玄関ドアの開口部商品と連動した採光・通風機能商品として提案されるケースがおおい。

さらに、子どもや高齢者に安心・安全なユニバーサルデザインにもとづくバリアフリー対応商品が増

加していることも特長といえる。

リーディング企業の大建工業ら業界各社、最新のデザイントレンドを取り入れたオリジナル商品開発で競合

2014年度新設住宅着工戸数は88万0470戸(前年比10.8%減)、床面積7400万7000㎡(15.2%減)と、駆け込み需要の反動を受けた。内装建材メーカー各社とも前年実績を下まわったが、2ヶ台の減収は回避した。

住宅内装建材は1兆円市場といわれる。業界最大手の大建工業が、売上高900億円台で市場をリードする。9月26日に創立70周年を迎え、全カタログ製品の8割以上を刷新する大規模なリニューアルに取り組みしており、10月21日から70周年記念新製品の発売を開始する予定。

これに600~500億円台で、パナソニックソリューション、ウッドワン、LIXIL、永大産業、ノダが追う展開と推定される。

木質内装建材専門企業は、床材をはじめ室内ドア・引戸、収納、階段などの内装材とMDF合板を2本柱に展開する。とくに、内装材では、床材を主力商品にトータル受注体制を敷く。

これに対してLIXILやYKKAP、三協立山は、室内ドア・引戸、収納の開口部商品、窓まわり造作材を中心に展開し、アルミ室内建材分野を創出している。アルミ素材を活かしたアルミ製インテリア建材は、室内ドア・引戸、間仕切り、階段など、高性能建材として商品化されているケースがおおい。同じ金属製品でも住宅用リビング階段では、スチール製シリーズ一階のカツデニングアーキテックがトップ企業としての地歩を固めている。

三協立山

アルミ室内建材「AMiS」8月リニューアル新発売、ナチュラル感と上質感をプラスし新次元のインテリア

【新商品】アルミ室内建材シリーズ「AMiS」(8月リニューアル新発売。従来のシンブル&モダンに、ナチュラル感と上質感をプラスし、インテリアに溶け込んで、空間をもっと楽しめる新次元のアルミインテリアへの進化をめざす) —◆「室内引戸・収納ドア・室内ドア」の共通特長:①テイストの異なる



三協立山:アルミ室内建材「AMiS」をリニューアルした最新のインテリアへ進化

る框2種類・3色の設定。極細ピッチで題すマークが目立ちにくい「マトライン」(サンシルバー)と、金属感を緩和し光沢と温かみのある表情をみせる「ウェーブライン」(ホットブラウン・黒)。②全面採光で柔らかかな空間を演出する障子デザイン。③面材は、布地の柔らかさを再現したくながれ、水の表現に挑戦したくしづくを含まポリカーボネートパネル4種とガラス2種。④デザインと操作性にこだわった引手1種とハンドル2種。⑤枠タイプに木製枠とアルミレール等。

■木質建具「ウッドリアVS」(セレクトタイプとスタンダードタイプ) —①直張りタイプの沓摺・敷居・下枠と、埋込タイプの床見切に、傷や汚れにつよい樹脂化粧シート採用の「Sフロア」対応色を追加。②室内引戸のアウトレット仕様に入隅用たて枠を追加。

【現況】アルミインテリア建材のトップブランドとして市場をリードする「アミス」シリーズを8月リニューアル新発売した。これまで機能的デザインを追求してきた「アミス」に、自然な表情や温かみのある表情を加えることで、アルミのもつ上質な素材感をひきだす新たなデザインシリーズ。

インテリア建材は、木質建具「ウッドリアVS」、樹脂化粧シートフロア「Sフロア」を主力商品に、アルミインテリア建材「アミス」、ナチュラルスタイル「フィアンス」、和風アルミ室内建具「ワデリア」など各シリーズを展開する。また、昨年10月にリニューアルした後付樹脂窓「ブラメイクEII」は、高断熱複層ガラス仕様に関わらず、障子開閉力を低減し操作性に優れた室内建具として展開する。

内装建材の販売傾向をみると、戸建住宅向け90%、集合住宅向け10%。アイテム別には、ドア・引戸60%、床・天井材15%、造作材17%、階段3%、

その他5%の比率。

人気のシートフロア「Sフロア」(粗肌仕上げ・うづくり仕上げ・精肌仕上げ)0とのカラーコーディネートに配慮した商品開発に重点を置く。また、「アミス」シリーズのアルミ製室内階段は、業界トップの実績をあげている。らせん階段、直線階段、踊り場の設定。直線階段には、ストレート、折れ、折り返しをラインナップ。同デザイン吹き抜け手摺も設定する。木質室内階段に比べて価格高が悩みだが、シンプルなフォルムと採光・採風による開放感のあるリビング階段として展開する。

L I X I L

リビング建材「グランドライアス」、部屋全体がひとつに融合したようなシンプルで無駄のない空間提案

【新商品】□リビング建材——■「グランドライアス」(1月フルモデルチェンジ新発売)：開発コンセプト——空間を開放する、「ノイズレス」な建具。建具を単なる仕切りという役割から解放し、部屋全体がひとつに融合したようなかぎりなくシンプルで無駄のない空間。①建具色の混在を排し、扉・金具まで壁・天井と同じホワイトカラーを選択できる「境界を越える」スタイル。②ひとつづきの木目の表情をもった建具や本物の木の床、あたたかみのあるブラウンでまとめられた空間「時を超える」スタイル。③斬新な素材やカラーと住まう人の個性の融合による、ユニークで高感度な自然体のあり方提案「概念を超える」スタイル。室内ドア(アルミ製ライン枠採用、見付寸法5mm) / 室内引戸・クローゼットドア(見付寸法6mm) / 各種の玄関収納などをラインアップ。カラーは、プレシヤスホワイト、木目3色、鏡面3色(ピュアホワイト、シックベージュ、モーヴグレー)の各色。◆天然木化粧床材「銘木床」(1月モデルチェンジ発売)：「グランドライアス」のコーディネート商品。天然木単板にクリア塗装しただけの無着色仕上げ。「木味醸成化処理」技術による煮沸・蒸煮で、素材のみずみずさを再現、塗理が際立つ突き板に仕上げる。

■床材「D・フロア」(経年によって味わいを増す木の自然な色合い・風合いを再現した樹脂シート仕上げ)：「ファミリーラインバレット」とのコーディネート可能な5タイプ追加。業界初の「フレンチヘリボー



LI X I L : 「グランドライアス」で部屋全体がひとつに融合した新空間提案

ン調」デザインは、左右2タイプの床を貼り合わせる伝統技法。◆「階段」(ベシックタイプ)にD・フロア対応3タイプ追加。

■「大開口建具」(一般住宅、グループホーム、サービ付高齢者向け住宅用)：上吊方式・アウトセット方式の片引戸に、従来のWソフトラッシュに追加。①「エコカラット」(従来品よりも吸放湿量を30%増加)：布地柄をミックスした「エコカラットキルト」を追加、全18商品。「エコカラットデザインパッケージ」を追加、全84プラン。

□重点商品——◆内装リフォーム専用商品「リノバ」：壊さない工夫・現場にFIT・無駄の排除をテーマに開発された内装リフォーム初のカバー工法。窓や玄関ドアの枠にも対応するリノバカバー材をはじめ、室内ドア・室内引戸・戸襖ドア・戸襖引戸の構成。

【現況】リビング建材をはじめ、水まわり商品、窓・玄関まわり商品などの豊富な品揃えにもとづく、トータルな商品提案力をセールスポイントに展開する。リビング建材では、中高級品「グランドライアス」のフルモデルチェンジをおこない、これまでにない建具と壁・天井が融合した新たな空間づくりを提案している。中級・普及品「ウッディライン」のフルモデルチェンジ、普及品「ファミリーライン」のバリエーション追加につづくもので、リビング建材を新たなステージに高めるものといえる。

リビング建材は、部別別に室内ドア・引戸、収納50%を中心に、床・天井材・階段35%、造作材15%の販売比率。

その中でも、床材「D・フロア」のバリエーションが強化されつつある。また、内装リフォーム需要の増加に対応した商品「リノバ」が、今年4～6月実績で前年比137%の高い伸びをみせている。さらに、

「大開口建具」自閉機能タイプなどのバリアフリー対応商品、「通風建具」ルーバードア・引戸、通風窓などの自然の風を取り入れる提案商品にも力を入れる。

Y K K A P

インテリア建材「ラフォレスト」(ユア・引戸)にナチュラルモダンベースの3つの新デザインスタイルを提案

【新商品】□インテリア建材「ラフォレスト」(ユアのインテリアデザイン嗜好調査でナチュラルモダン、シックモダンの人気が高く、最近女性を中心にエレガントなインテリアイメージの人気の高まりつつあることを踏まえて、「ミックスナチュラル」「ウッドナチュラル」「フレンチナチュラル」の新たな3つのデザインスタイルを提案)——◆「室内ドア・引戸」：①木調建具にブラックラインモールドをあしらったブラックラインデザイン「ミックスナチュラル」スタイル。②ナチュラル感を演出する幅広板張り風デザイン「ウッディナチュラル」。◆「ウェーブデザインハンドルEタイプ」：③シンプルな四方枠組の建具と組み合わせてエレガントな雰囲気演出するウェーブデザインハンドル「フレンチナチュラル」スタイル。

□インテリア建材「スクリーンパーテーション」(線仕切り)——◆「Jタイプ」：縦にあしらった細格子調デザイン。最大DH 2700mmでも横棧の入りすぎりとして意匠。和風からモダンまで幅広く対応。

□インテリア建材「ラフォレスト」——◆「フロアリング タフテクトB・タフテクトF」：木のもつ木目の表情、奥行き感を最新技術で再現した銘木調シートフロアリング。建具と同一カラー展開のタフテクトB全7柄。カフェなど商業建築のフロアリングを住宅向けにアレンジしたタフテクトF全4柄。◆「タフテクト階段」：フロアリング「タフテクトB」と同一柄をラインアップしたラミネートシート階段。蹴込・側板に無地ホワイトのプレレンカラーを用意。木調色の踏板との組み合わせでツートン階段に対応。安全バー手すりの金具をスタイリッシュなデザインに一新。カラー全3色に拡充。

◆機能引戸「連動引戸(上吊りタイプ)」：一般住宅をはじめ、サービス付き高齢者住宅やグループ



Y K K A P : 「ラフォレスト」にエレガントなイメージの新たなデザインスタイルを提案

ホームなどに最適な大開口に対応する室内引戸。快適な開閉操作、フラットな床面仕上げ、扉の振れも抑制する「マグネットガイドピン」、ゆっくりと閉まる「ダブルクローズ機構」、大型ハンドルの標準装備などが特長。

【現況】木質インテリア建材「ラフォレスト」と、アルミインテリア建材「スクリーンパーテーション」「アルミ製階段」の2つのシリーズを展開する。

主力商品の「ラフォレスト」シリーズでは、近年のインテリアトレンドである天然木の素材感を再現したナチュラルモダンをベースに、ブラックカラーや洋風テイストのアクセントを組み合わせた新商品を軸に展開する。

内装建材の販売先は戸建住宅85%、集合住宅15%の割合。部別別には、ドア・引戸60%を主力に、造作材20%、床・天井材10%、階段5%、その他5%の比率。開口部商品につよく、高機能商品の開発に力を入れている。

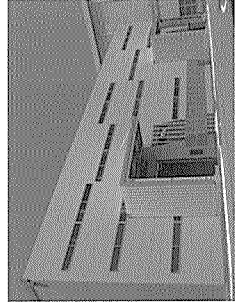
とくに、「小エネ(ローエネ)で暮らそう」をコンセプトに、光や風、夏や水をコントロールして1年を通じて消費エネルギーを最小限に抑え、快適に過ごす暮らし提案を実現する商品バリエーションの強化に取り組んでいる。風や光を部屋の奥に届ける「室内窓」採光ユニット、「ランマドア」、「通風機構付き室内ドア」などを品揃えする。

アルミの軽さと強度を活かしたフレームによるスクルトン構造の「アルミ製階段」は、窓からの光を室内の奥まで通して、明るく開放的な空間を演出するアイテムのひとつといえる。

さらに、安心・安全に配慮した商品や高齢者対応のバリアフリー商品を充実させている。ドア・引戸のソフトラッシュ機構は、すでにスタンダードな機能として搭載されている。

YKK AP

黒部製造所の押出ライン棟を竣工機7インチ・1800トン操業を開始、従来比約40%生産性を向上



YKK AP (堀秀充社長)は8月24日、黒部製造所の押出ライン棟を竣工、操業を開始した。新設アルミ押出ラインは、押出機7イ

ンチ・1800トンをはじめ、最新設備・技術を導入し、品質・コスト競争力を強化した。従来ラインに比べて約40%生産性を向上させている。環境面では従来のLNGへの燃料転換を提案した設備の導入、低電力照明・空調などを採用した。

今回の押出ラインの更新をスタートとして、主要生産設備の継続的な更新をおこない生産ラインの合理化・コンパクト化をはかると共に、インフラ基盤の強化や構内物流改善などの黒部製造所の再構築をすすめていく。

YKK AP黒部製造所一敷地面積34万5000㎡、従業員約770人。押出ライン棟：建築面積約5300㎡、延床面積約5400㎡、鉄骨造、総投資額約15億円(建屋・設備含む)。

日本軽金属/日軽パナネルシステム

地球温暖化係数が極めて低いレベルの新発泡剤「HFO」を採用した世界初のノンフロン断熱不燃パナネル「ジェネスタ不燃」の新開発・量産化に成功

日本軽金属(岡本一郎社長)とその100%子会社の日軽パナネルシステム(以下日軽パナネル。昼間弘康社長)は、オゾン破壊係数がゼロで地球温暖化係数がきわめて低いレベルを実現した、新たな発泡剤を用いたノンフロン断熱不燃パナネル「ジェネスタ不燃」の開発・量産化に成功し、6月29日から生産・販売を開始した。同時に、日軽パナネルは生産・販売する断熱パナネルを2015年度中に全てノンフロン製品に切り替える計画。

日軽パナネルの主力商品は、硬質ウレタンフォームを芯材とする「断熱パナネル」と、ポリイソシアヌレートフォームを芯材とする「断熱不燃パナネル」の2種類。どちらも発泡剤に特定フロンの廃止後、代替フロン(HFC)への転換が進められた。しかし代替フロン

はオゾン層への影響は少ないものの、地球温暖化を促進する温室効果ガスであることから、「京都議定書」において各国で削減を推進することが決められた経緯がある。

このため日軽パナネルは、日本軽金属の協力のもと、HFCに替わる第4世代と呼ばれる新発泡剤「HFO(ハイドロフルオロオレフィン)」を採用した世界初の断熱パナネル(注入発泡式金属サンドイッチパナネル)の開発に成功した。6月29日からポリイソシアヌレートフォームを芯材とした「断熱不燃パナネル」のすべてをHFO使用の「ジェネスタ不燃」に切り替えた。引き続き、2015年度中に硬質ウレタンフォームを芯材とする「断熱パナネル」もノンフロンパナネル「ジェネスタ」に替える計画。

LIXIL

「住生活サービス・ブラットフォーム事業」を展開する6社共同出資の戦略ベンチャー「HOUSALL」設立

LIXILグループ(藤森義明社長)は、6社共同出資による住宅、金融、運輸、エネルギーなどさまざまな産業で活用可能な「住生活サービス・ブラットフォーム」の構築を目的にした戦略ベンチャー企業・株式会社HOUSALL(ハウソール)を9月1日付けで共同設立した。

共同出資企業は、LIXILグループをはじめ松家ホールディングス(東京都)、エディオン(大阪市)、静岡銀行(静岡市)、ナイス(横浜市)、フロム・ナウ(東京都)の6社。資本金1億円。本社：東京都千代田区神田須田町2-2-5CTNビル。代表取締役社長兼CEO：黒澤寛由(紀貴LIXILグループHOUSALL設立準備室長)。

生活者との接点をもつさまざまな事業者向けに、住宅のアフターサービスやメンテナンス業務などをワンストップで提供できる「住生活サービス・ブラットフォーム」をアウトソースで代行するBtoBビジネスを展開する。

カンタン耐震リフォーム工法「アラテクト」の講習修了登録店情報を8月よりWEBサイト上で公開開始

LIXILは、4月から技術講習会をおこなってきた、業界初のアラミド繊維シートを用いた室内側から壁を壊さない耐震改修工法・カンタン耐震リフォーム工法「アラテクト」の登録店が7月末現在350店を超え、8月よりWEBサイト上で登録店情報の公

開を開始した。

「アラテクト」WEBページには、一般財団法人日本建築ボウさ協会より住宅等防災の「技術評価」を取得した「アラテクト」の特長や施工の流れ、耐震自己診断、登録店マップなどを公開している。

ボランタリーチェーン「TH友の会」を「Good Living友の会」に名称変更

LIXILは、1988年に発足した業界最大級のボランタリーチェーン(以下VC)組織(会員数1万3500社)の「TH友の会」を、「Good Living友の会」に名称を変更した。

新築・リフォームなどの特化したSW会、LIXILリフォームネット、LIXILリフォームショップ、LIXILFCマドリエ、イエココなどのVC、FC組織の根幹として、会員の事業を総合的にサポートするもの。新たなサービスとして、絵本風コン셉トブック(住宅一次取得層の30代の子育て世代対象)、住マイルFPP名人(無理のない住宅購入を手助けする支援ソフト)、顧客プレミアム(顧客データを有効活用し生涯顧客化を支援するソフト)などを追加した。

文化シャッター

業界初の屋外専用の鋼製軽量引戸「カームスライダ屋外タイプ」新発売、雨水対策に配慮した規格品



文化シャッター(茂木哲哉社長)は、雨水対策を施した業界初の屋外専用の鋼製軽量引戸「カームスライダ屋外タイプ」を7月15日新発売した。

屋外の公衆トイレ等の開口部商品として発売したもので、床面にレールがなく車椅子利用者や杖の使用・乳幼児連れの方もスムーズな入室ができるほか、錠前の操作方法にピクトグラム(絵文字)を使用したユニバーサルデザイン。屋外での使用に配慮して、錠前とハンドルから浸入した雨水の排水機構を設けたほか、ガラリや小窓部から扉内部に浸水しない雨水対策を施していること、さらに日射対策として、扉が熱変形を起こしにくい構造であることなどが特長。

スチール製・ステンレス製の面付けタイプと三方枠付きタイプの規格品を用意。扉バリエーションは、フラッシュ、小窓付、ガラリ付など8デザイン。オーダー

対応の重量引戸に比べて、価格を約20%低減し、約1週間の短納期を実現した。参考価格：片引戸・フラッシュ・三方枠タイプ、有効開口幅1000mm・高さ2100mmで、スチール製38万5000円、ステンレス製102万4000円。

東京都文京区との間で「災害時ににおける相互協力に関する協定書」締結

文化シャッターは7月28日、本社所在地の東京都文京区との間で、文京区地域防災計画にもとづく「災害時ににおける相互協力に関する協定書」を締結した。

主な内容は、①地震、風水害その他の災害時に、区民、在勤者および帰宅困難者の安全確保をはかるため、本社ビル2階ホールおよびホワイエ等を一時避難施設として開放する、②災害の初期対応時に必要な非常食等の物資を備蓄し、災害時に提供する。

不二サッシ

2014年度建材作品コンテストの最優秀賞に「大翔株式会社社屋改修工事」の(株)山形チャレンジ工業選出

不二サッシ(土屋英久社長)は、「2014年度建材作品コンテスト」の審査結果を発表した。最優秀賞は、「大翔株式会社社屋改修工事」の株式会社山形チャレンジ工業が受賞した。同社が開口部にとどまらず、建物外観全体にわたり改修提案をおこなった作品。そのほか優秀作品9点を合わせて表彰した。

2015年度建材作品コンテストは、最優秀賞のほか、アルミフロントにLEDモジュールを搭載した新商品「アルビームフロント」を使用した物件を対象にした「アルビーム賞」を新たに設置し、10数点を表彰する予定。募集部門は、店舗物件部門、一般物件部門、リニューアル部門。応募締切は2016年3月末日。

新開発の折り畳み式ユニットハウスの接合部でペタリピングから業界初の「フレーム接合部技術認定」取得

不二サッシは、折り畳み式ユニットハウスの接合部を新たに開発し、ペタリピングから業界初のフレーム接合部の技術認定を取得した。

今回の接合部は、「柱と梁」「柱と土台」の接合部実驗で確認をおこない、ペタリピング鋼構造評定委員会の審査を経て、「回転剛性並びに長期および短期許容耐力が妥当である」との技術認定を受けたもの。今回の取得により一般建築物として使用できることになった。